

YAMANASHI
DISCOVERY
MAGAZINE

VOL.

06

2017

SPRING

山梨

てて
teku-teku
くく

| 特集 |

大政治家

武田信玄をひもとく



山梨

てて
Teku-Teku
くく

『山梨てくてく』は

歩く速さでじっくりと

山梨の魅力を紹介していきます。

戦国武将として名高い『武田信玄』は、

戦に秀でていただけでなく、

文学青年であり、優れた政治家でした。

今回は、信玄の素顔に触れながら、

歴史ロマンを求めて『てくてく』。

こんな山梨があったんだ、と思える発見や感動を

見つけていただけたらと思います。



VOL. 06

CONTENTS

特集

大政治家
武田信玄をひもとく

03

武田信玄

信玄の卓越した領国経営

すべては民のため

「てくてく」伝

10

山梨の春の風物詩、信玄公祭り

そこには、雄壮な戦国絵巻へといざなう、
ひとりの名軍奉行がいる。

「てくてく」食

12

地場食材の魅力が凝縮

山梨が誇る食文化「ほうとう」を世界へ。

「てくてく」住

14

和種馬と暮らす、

富士山を仰ぎ見る地で。

「てくてく」甲斐の図

16

甲府駅〈北口〉

信玄(晴信)は、大永元(1521)年11月3日に信虎の嫡男として甲府の要害城の麓、積翠寺で誕生しました。青年時代から詩歌や文学に親しみ、孫子の兵法にも精通。深めた教養を多岐にわたり応用することで、信玄は戦国時代に優れた武将としてその名をはせると同時に政治にも才能を発揮したのです。

信玄は「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、あだは敵なり」を領国経営の理念とし、民のことを考え国造りをしました。53歳でその生涯を終えるまで、信玄の成し遂げた偉業は数知れず、今もなお、人々の心と暮らしの中に息づいています。

Teku-Teku
FEATURE

武田信玄

すべては民のため



信玄の 卓越した領国経営

— 徳川家康も範とした —



武田晴信公画像(武田神社 所蔵)

最強の戦国武将として
誰しもが知る武田信玄。

実は政治家としても優れた人物でした。

「民力を高める＝国力を高める」を
モットーとしていた信玄とは…。

日本中世史の研究で知られる、

歴史学者の平山優さんが語ります。

信玄は中国の書物を読破する
文学青年だった。

「戦国時代はなぜ争いが頻発したのでしょうか。当時は小氷河期と言われ、冷夏、長雨、干ばつなど天候が不順でした。そのため慢性的な飢饉^{ききん}に見舞われ、他の領地に攻め込んで食料などを奪い取ってきたわけです。実はこれが戦国争乱の本質だといわれています。信玄がすごいのは戦に長けていただけでなく、もつと長い目で領国を豊かにする方策を考えていたところで、そこに政治家としての信玄の力が発揮されているのです。

優れた政治家に成り得た要因の一つに、文学青年だったことが挙げられます。もともと守護家というのは伝統的な武家なので教養人が多く、そのような環境で育った信玄も中国の書物を読破し、よく理解しました。戦国最強といわれた武田軍の象徴『孫子の旗』(別名『風林火山』)も中国の兵書『孫子軍争編』の言葉を引用しています」

「太鼓判を押す」「お金に糸目はつけない」
甲州金から生まれたといわれる慣用語。

「信玄は領国の経済発展のため金山開発に力を入れ、『甲州金』という貨幣を作りました。甲州金は金の純度が高く高品質だったこと、また壹分金の形が、まるで和太鼓を上から見た姿に似ていることから、『太鼓判を押す』が、『保証する』と聞かない」という意味になったという説があります。

また、糸目金は甲州金の中で非常に小さく価値のわずかな貨幣でした。そこで、お金を思い切って使うときには、『糸目のようなわずかなお金は気にも留めない』の意味から、『お金に糸目はつけない』という言葉が生まれたともいわれています。

信玄が育てた人、技術、そして物が
260年続いた江戸幕府の体制を支えた。

「金というのは秤量貨幣ひょうりょうぎょうかへいなので、重さで流通します。秤がしっかりしていないと安定した流通が望めないわけです。そこで信玄は職人を甲斐と呼んで正確な秤を作らせました。それが『守随秤しゅずいばかり』です。この秤は徳川家康が武田家滅亡後に江戸でお墨付きを与え、江戸秤座となりました。そして江戸時代、東日本33カ国(当時日本は66カ国)の共通の秤として幕府が認定しました。信玄が作らせた秤が、非常に技術力が高く精密だったので、家康はそのまま使ったわけです。

それだけでなく、信玄が育てた家臣にも江戸幕府の要職として数多くの実績を残した人たちが(大久保長安、鎮目市左衛門など)がいます。信玄が育てた人、技術、そして物が、260年続いた江戸幕府の体制を支えたといえるのです。」



守随秤



山梨中銀金融資料館

住所／甲府市中央2-11-12
TEL／055-223-3090
開館時間／9:00～17:00(入館は16:00まで)
開館日／日～木曜日
(ただし祝日・12月29日～1月4日は休館)
入館料／無料



[甲州金]

里芋の葉に滴が落ちて、「ころころ」とした様に似ていることから名が付いた「露沓両金つゆいりりょうきん」(左上)
「お金に糸目はつけない」の語源ともされる「糸目金」(右上)
「太鼓判を押す」の語源ともされる「壹分金」(右下)

後世に継承される
治水事業に着手した信玄

「甲府盆地は古来から洪水が多かったので、信玄は治水事業を行い、耕地開発を進めました。10〜20年先ではなく、おそらく50〜100年という期間で物事を見ていたのでしょう。その集大成の一つが『信玄堤』です。領国を水害から守り荒れた土地を開拓していく基盤をつくった政治家は、あの時代には信玄しかいなかったですね。信玄堤は決壊した記録が全くなく、今も山梨の人々の生活を守っているんです」

「武田信玄というと、戦の世界の信玄像に目がいきがちですが、実は信玄は今も私たちの世界にしっかりと根付いたものを残してくれています。」

信玄の器量というのは彼が健在だった時はもちろんのこと、亡くなった後も長く効力を発揮し続けました。中でも『甲州金』『守随秤』『信玄堤』は、特筆すべきものだと思っています。信玄はまさに当代に傑出した大政治家だったのです」



平山 優さん

日本中世史に関わる研究を精力的に行う歴史学者。武田氏研究会副会長。山梨県立中央高等学校教諭。2016年放送の大河ドラマ「真田丸」をはじめ、ドラマなどの時代考証を手掛ける。



〔信玄堤（しんげんづつみ）〕甲斐市竜王

釜無川かまなしがわと御勅使川みだいがわが合流する付近は、しばしば大洪水に見舞われた。そこで信玄は、釜無川沿いに堤を造るとともに、御勅使川から堤を守るため、川の流れを変えて「高岩」と呼ばれる自然の崖へぶつけ、川の勢いを弱めるなどの治水事業を約20年の歳月をかけた。（右図）

「以前、地元の人に伊勢湾台風（1959年）の時の話を聞きました。当時は信玄堤の脇に家があったわけですが、波頭を立てて川幅いっぱいまで水が押し寄せてきたそうです。誰もかこれはもうダメだと思ったけれど、信玄堤は切れずに下流の新しい堤防が切れたと言っていました。今でも信玄堤は現役なんです」と平山さんが語ります。



信玄堤絵図（保坂家資料 個人蔵）

山梨県内には、
武田信玄ゆかりの史跡が数多く残されています。
その中でもぜひ巡りたい名所を
歴史学者の平山優さんに教えていただきました。
激動の戦国の世を生きた信玄をしのびながら、
歴史ロマンを感じてみてはいかがでしょうか？

信玄ゆかりの 史跡を訪ねて。



軍配(恵林寺 所蔵)

大善寺

養老2(718)年創建の古刹^{ミコト}です。
本堂「薬師堂」(右)は国宝に指定されていま
す。薬師如来、日光・月光菩薩(下)を配し、
三像ともにサクラ材の一木造で国の重要文
化財です。他にも十二神将立像(国の重要
文化財)など数多くの仏像が安置されていま
す。信玄が家督を継ぐ前年(1540年)の大
風で本堂の屋根は吹き飛び、薬師如来像や
日光・月光菩薩像などは全部雨ざらしになっ
てしまいました。そこで信玄が大修理をしたの
です。今の本堂は数少ない信玄時代の建物
の一つです。

◆ 甲州市勝沼町

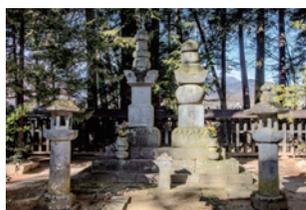
JR中央本線・勝沼ぶどう郷駅からタクシーで約5分





武田不動尊

明王殿に安置されている武田不動尊は信玄が京都から仏師を招き、自らと対面させて模刻させたといわれるものです。信玄は自らの毛髪を漆に混ぜ、座像の胸部に刷毛で塗り込めたと伝えられています。



信玄公の墓所

元亀4(1573)年、53歳で信玄は亡くなりました。遺言どおりその死を3年間秘した後、快川国師により本葬儀が行われました。武田家臣の供養塔約70基も墓所後陣に並んでいます。※毎月12日のみ特別公開



夢窓国師の庭園

鎌倉時代、夢窓国師の築庭とされる美しい庭園(国指定名勝)も見どころです。

三門

武田家滅亡後、織田信長による焼き討ちの際、三門に立てこもった快川国師が「安禅必ずしも山水を須(もち)いず、心頭滅却すれば火も自(おの)ずから涼し」の言葉を残したと伝えられています。



四脚門(通称・赤門)

天正9(1582)年、織田信長の甲州征伐で焼失。その後、慶長11(1606)年、徳川家康によって再建されました。再建時の姿を今に残す遺構は、恵林寺の山号「乾徳山」の額を掲げ、鮮やかな朱色がひととき目を引きまします。国の重要文化財にもなっています。

恵林寺

元徳2(1330)年、夢窓国師により開山されました。甲斐の臨濟宗の中心の一つで、京都の妙心寺の有力な僧侶が次々に信玄の依頼で入山した寺院でもあります。信玄は生前に恵林寺を菩提寺として定めていました。

◆ 甲州市塩山

J R中央本線・塩山駅からバスで約15分。恵林寺前バス停で下車





武田八幡神社

弘仁13(822)年創建と伝わる古社で、武田家の氏神としてあがめられてきました。現存する社殿は天文10(1541)年信玄が造ったと伝えられているもので、三間社流造(さんげんしゃながれづくり)・桧皮葺(ひわだぶき)で意匠的にも優れています。当時の建築様式を伝える遺構として国の重要文化財に指定されています。石鳥居は室町時代に、二の鳥居は江戸時代に造られたとされる県指定文化財です。武田家滅亡の時に勝頼の正室・北条夫人が願文を納めたことでも知られています。

◆ 韮崎市神山町

JR中央本線・韮崎駅からバスで約15分
武田八幡入口バス停で下車



富士御室浅間神社

富士山最古の神社で武田三代に崇敬され、信玄がお社などを寄進したといわれています。ご祭神が木花開耶姫命であることから女性に関する広い信仰があり、信玄も三国同盟のため北条氏政に嫁がせた娘・黄梅院殿の安産を祈願した願文を納めています。このことから信玄の信仰の厚さと、実はとても子ども思いだった一面が見てとれます。

◆ 富士河口湖町勝山

富士急行線・河口湖駅から周遊レトロバスで約15分
富士御室浅間神社バス停で下車

◆ 武田信玄略年譜 ◆

- 1521 武田信玄誕生
- 1541(21歳) 信玄、父・信虎を追放
- 1542(22歳) 釜無川が大氾濫し、『信玄堤』の建設を始める
- 1547(27歳) 甲州法度次第を制定
- 1553(33歳) 第一次川中島合戦で、上杉謙信と戦う
この後、1564年まで5回にわたり
川中島合戦を繰り返す
- 1560(40歳) 『信玄堤』完成
- 1572(52歳) 三方ヶ原合戦で
徳川家康を撃破する
- 1573(53歳) 信州伊那駒場にて武田信玄死去



甲斐善光寺

永禄元(1558)年、信玄により創建されました。川中島の戦いの時に、信玄は信州善光寺に戦火がかかることを恐れて、善光寺如来(秘仏)とお寺や門前町の機能を甲斐に持ってきました。甲斐善光寺は最終的に信玄が亡くなる前年に完成しました。江戸時代に焼失するまでは今の1.5倍ほどの広さがあり、信州善光寺とほぼ同じ規模でした。

◆ 甲府市善光寺

JR中央本線・甲府駅からタクシーで約12分
JR中央本線・酒折駅から徒歩約15分
JR身延線・善光寺駅から徒歩約7分



—山梨の春の風物詩、信玄公祭り—

そこには、雄壮な戦国絵巻へといざなう、
ひとりの名軍奉行がいる。

飯野 洋光さん

信玄公祭り・軍奉行役

演劇経験を買われ、27歳の時、信玄公祭りのスタッフから言葉による祭りの演出を依頼された。それ以来、南極観測隊に参加した1998年以外、40年以上軍奉行役を務めている。元山梨大学勤務

※信玄公祭りについては、19ページ参照



「信玄の威徳を伝え、
はせ参じた農民たちの
心に寄り添う思いで演じる」

4月の信玄公祭りで私が演じる軍奉行は、祭りの進行役を務める武者です。軍奉行は実際に信玄の時代にもいて、戦況を見ながらお館様の命を受けて采配を振る重要な役割も担っていたようです。私は信玄や、はせ参じた農民たちの思いを心に浮かべながら、時にはアドリブも織り交ぜて演じています。突然兵役に駆り出された農民たちは、不安もあったことでしょう。それでもはせ参じたのは信玄の威徳があればこそです。豊かで平和な国を築こうという信玄の強い思いが農民たちに伝わり、それが武田軍の強さにつながっていたのだらうと思います。そういう思いを込めて自らを鼓舞し、信玄と軍団の雄壮さと素晴らしさを演出することをいつも大切にしています。信玄公祭りは合戦を賛美する祭りではないので、「かかれ」というような台詞はあまり使わないようにしています。

祭りの最高潮と言えば、やはり出陣の儀です。「これより出陣の儀を執り行う」の声を上げる時



「には、声により一層の張りを持たせ、信玄をしのばせる意気を伝えるように演じています。中でも、三献の儀から出陣までの一連の儀式は見応えがありますよ。」

「装備の豊かさ
文化レベルの高さに触れ、
歴史絵巻をひもとく楽しみ」

戦う強さだけでなく、装備の豊かさという文化レベルの高さも、信玄公祭りで感じ取ってもらいたいですね。甲冑かぢうは物作りの頂点と言えますし、女武者隊の衣装も素晴らしいです。戦国の子世によくあれだけの装備ができたものだと思いますよ。信玄公祭りは時代考証もしっかりしてありますから、歴史絵巻をひもとくことができます。

山梨は自然豊かなところです。祭りが行われる4月上旬には、桜も見頃となるでしょう。祭りを皆さんに楽しんでいただけるよう、私も勇猛果敢な軍団の一人として、精いっぱい演じていきたいと思っています。



地場食材の魅力が凝縮 山梨が誇る食文化「ほうとう」を世界へ。

ふなり
歩成

大将 小泉 勇樹 さん

「一から作り上げる食へのこだわり。うまさの秘訣は、技と経験で極める食材の絶妙なバランス。」

自社農園で育てた無農薬野菜をはじめ、信玄どり・山梨ワイン豚など、山梨県産の厳選食材をふんだんに使い、こだわりのみそで煮込んだ歩成の「黄金ほうとう」。ほうとうの味を競う大会『昇仙峡ほうとう味くらべ 真剣勝負』で3年連続1位に選ばれ、殿堂入りを果たしました。その味は、地元でも人気です。

ほうとうは、コシが強くモチモチとした幅広の麺を、かぼちゃやイモ類、季節の野菜、肉類などと一緒に煮込み、みそで仕上げた栄養バランスが優れた山梨を代表する郷土料理で、武田信玄が陣中食にしたとも伝えられています。

「当店では地元の食材を使い、一から手作りでこだわりの味を追求することで、家庭では出せないおいしさを実現しました。米こうじの赤みそと白みそを独自の配合で混ぜ合わせ、そこにペースト状にしたかぼちゃを加えています。昆布やウルメイワシ、干しシイタケなど複数の食材から取っただしが、みそにうま味とコクを加え、奥行きのある味が生まれます。良い食材を使うだけでなく、その食材の絶妙なバランスをみ込んで考え作ることに、一貫したこだわりを持っています。」

「郷土料理『ほうとう』を世界に広める、その努力は惜しまない」

「歩成という店の名は、将棋の『歩』に由来するもので、一歩一歩努力して前進し、いつか強く大きな存在になろうという思いから付けたものです。地元の方々に愛される店を築いた父の背中をずっと見てきましたので、私もお客さんに喜んでいただけるように努力を重ねていきます。そして、郷土料理『ほうとう』を全国に広め、ゆくゆくは、山梨の食文化を世界に発信できたらと思っています。」



お食事処 歩成 本店

山梨市上神内川1234
TEL.0553-23-0253
営業時間：昼／11:30～14:30
夜／17:00～24:00
土・日・祝／11:30～24:00
定休日：月曜日 ※祝日の場合は翌日



Information

「ほうとうが食べたい」という観光客のオーダーから、従業員の賄いがメニューとなった。

山梨

てくてく



「黄金ほうとう」(山梨ワイン豚入り)



和種馬と暮らす、 富士山を 仰ぎ見る地で。

紅葉台木曾馬牧場

漆澤 太さん

移住先／鳴沢村

漆澤さんは、富士山の麓にあるビクター制の外乗そりのり牧場「紅葉台木曾馬牧場」で和種馬わしゅばの育成と外乗時のガイドをしています。この牧場では主に、流鏑馬かざりうま奉納や障害者乗馬など、和種馬の活用の幅を広げる活動に積極的に取り組んでいます。

「漠然とした馬への憧れがあり、馬に関わる仕事を探していたところ、縁あって木曾馬牧場を知りました。最初は短期の予定で働いていたのですが和種馬に接しているうちにすっかり魅せられ、山梨の環境もとても気に入って、生まれ育った東京から移り住みました。それからもう20年ほどたち、今ではすっかり鳴沢村民です」

この牧場には今、30頭ほどの和種馬がいます。木曾馬や、ドサンコなど日本の馬は、性格が穏やかな一方で意思があり、頑固な面もあります。 「私自身もここで働くようになり、馬は人と意識がとても近い存在だと感じるようになりました。」

— 山梨への移住相談はこちらへ — やまなし暮らし支援センター

専門相談員が常駐し、山梨への移住や就職について、ワンストップでお手伝い。移住セミナーや各種イベントも開催しています。

■やまなし暮らしセミナー

自治体職員や相談員による地域情報の提供や個別相談などを行います。

[大阪開催] 2/18(土) …………… 大阪ふるさと暮らし情報センター

[名古屋開催] 2/19(日) …………… ウィンクあいち

[東京開催] 3/8(水)・3/19(日) …… NPOふるさと回帰支援センター

※ 3/8は「山梨子育て移住セミナー」

3/19は「北杜市移住セミナー」の開催を予定しています。

東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館8F NPOふるさと回帰支援センター内

TEL.03-6273-4306 FAX.03-6273-4307

E-mail:yamanashi@furusatokaiki.net

利用時間：火～日曜日 10:00～18:00

やまなし暮らし 検索

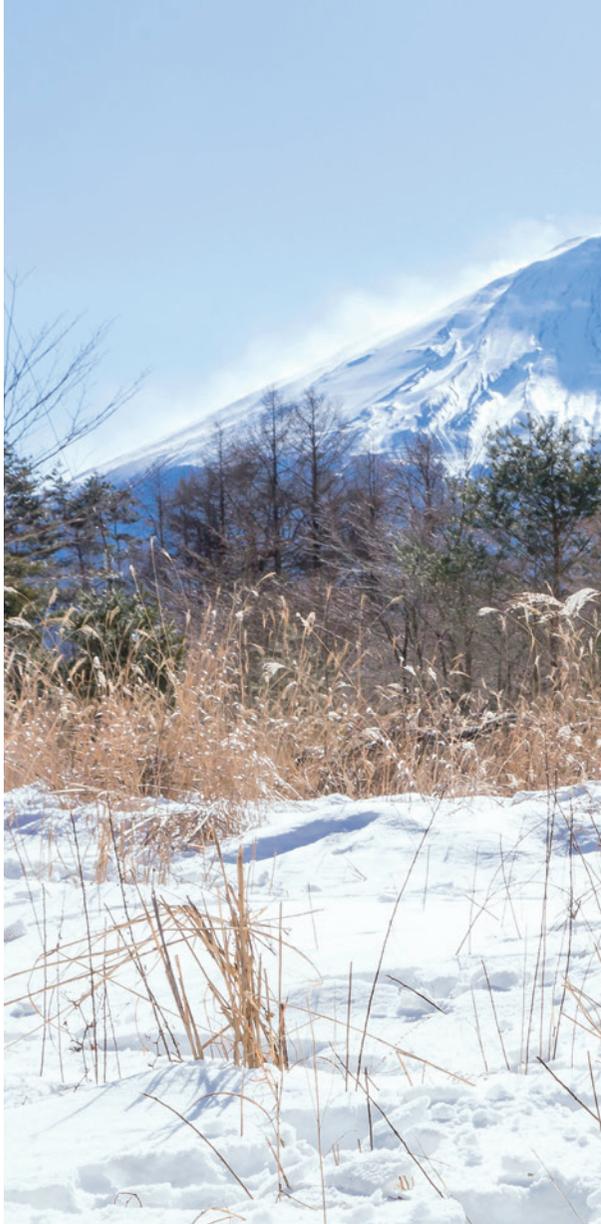


紅葉台木曾馬牧場／鳴沢村紅葉台8529-86 TEL.0555-85-3138



「甲斐駒流鎧馬神事」4月2日(日)

4月3日の石和八幡宮例大祭に先駆け、2日には漆澤さん所属の甲州和式馬術探求会による流鎧馬奉納が笛吹川河川敷にて行われます。※見学自由



お客さんからも『初めてなのに懐かしい感覚がある』といわれます。馬に乗ったり関わったりする感覚が、日本人のDNAには組み込まれているのかもしれないですね」

漆澤さんは和式馬術に取り組み、動きの細かい日本の馬に合わせた「立ちすかし」という軽く立つ乗り方などを指導し、流鎧馬を教えています。「こうした技術を活用していくことが、和種馬の存続のためにはとても大切なことですからね」と語ります。

「ここ山梨では古くから優秀な馬を育ててきました。武田信玄の時代の馬については諸説ありますが、日本人の体型に合っている和種馬が活躍していたはずだと私は思っています。いつかこの地から、武田騎馬隊を復活させるのが夢ですね」

06



長禪寺

信玄が甲府五山筆頭と定められた名刹で、信玄の母・大井夫人の菩提寺。信虎夫人像は重要文化財。五重塔など伽藍群も見どころ。

07

山梨中銀
金融資料館

日本最古の預金通帳や、江戸幕制の元になった武田氏の甲州金の実物など、充実の展示内容。日本の金融史を興味深く学べる。

08



甲州夢小路

甲府城下町を再現した街並みには、蔵造りのお店や美術館。石畳の路地には、ワイン・和紙・シジュエリーなど山梨の魅力がいっぱい。



てくてく
歩きの
途中で...

武田三代のお膝元で、絶品の庶民の味に会いました。こだわりのじゃがいもで作った名物のコロッケは、クリーミー。鳥桂肉店さんは先代からの味を大切に守っていて、娘さんで「3代目」。「長年通ってくれるお客さんや、近所のおばあちゃんのためにも、頑張ります」と話してくれました。

01

武田通り



甲府駅から武田神社まで延びる約2キロの表参道。沿道を中心に武田の武将の屋敷跡案内板も点在する。春には桜並木が見事。

02

武田神社



信虎・信玄・勝頼の武田三代が居住した館跡に創建された、信玄を御祭神とする神社。宝物殿では武田家ゆかりの至宝を展示。

03

円光院



信玄が定めた甲府五山の一つであり、信玄の正室・三条夫人の菩提寺。境内からは甲府盆地などの眺望も良く、心洗われる。

04

武田信玄公墓所



信州伊那駒場で急逝した信玄の秘喪の3年間、ひそかに埋葬されていた場所と伝わる。3月末ごろには信玄が愛した八房梅も満開。

05

大泉寺



信玄の父・信虎の菩提寺。信虎・信玄・勝頼の木像も安置され、総門や参道・池泉回遊庭園などは趣きがある。

みなのもの、 いざ出陣じゃ！

武田信玄の掛け声とともに、武田二十四将率いる騎馬隊による甲州軍団が出陣。ほら貝と銅鑼の音が高らかに鳴り響き、かがり火は夜空を焦がし、桜に彩られた幻想的な甲府の町は、戦国時代の甲斐の国へとタイムスリップ。

風林火山の旗をはためかせ、勇壮華麗な日本一の武者行列が向かうのは、宿敵上杉謙信が待つ、かの川中島です。





信玄公祭り

4月12日の武田信玄の命日を中心に、山梨県内各地では武田家をしのぶ数多くの祭りが開催され、メインの「信玄公祭り」は4月7日(金)～9日(日)の3日間にわたり繰り広げられます。中でも「甲州軍団出陣」は、県内のみならず全国から観光客や戦国ファンが集まる一大人気イベントで、4月8日(土)に行われます。



甲府へのおでかけは、えきねっとトクだ値

列車・区間・席数限定

片道乗車券+指定席特急券がセットで

35%OFF

【新宿▶▶甲府の場合】片道乗車券+普通車指定席特急券(通常期)おとな1名様

4,130円⇒**2,670円** (1,460円もオトク!!)

※インターネット限定商品です。※通常のきっぷに比べ、変更、払戻などご利用条件に制限がありますのでご注意ください。
※こどもの設定もごさいます。※きっぷのお受取り後の払い戻しには割引率分の手数料がかかります。



特急「かいじ」・「あずさ」 特急「スーパーあずさ」

特急列車のご予約は「えきねっと」で！

- 指定席がインターネットでラクラク予約！
- 窓口より早く受付開始！
- きっぷのお受取りは指定席券売機でスピーディーに！

えきねっと

会員登録
無料

詳しくはホームページをご覧ください。

えきねっと 検索

www.eki-net.com

※運転日や運転時刻、停車駅などは事前にご確認ください。※掲載内容は2017年2月現在の情報です。ご利用の際はホームページなどで最新情報をご確認ください。
※写真はイメージです。※一部の列車や一部の区間は「えきねっと」でお取り扱いしておりません。※満席等の理由により、座席をご用意できない場合があります。



山梨 **てくてく** *Toku-Toku*
VOL.06 | 2017 SPRING

平成29年2月1日[季刊]
第6巻春号

山梨県広聴広報課 発行 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
TEL. 055-223-1339 FAX. 055-223-1525 制作 山梨日日新聞社



やまなし森の印刷紙
この印刷紙には、
FSC®森林管理認証を
取得した山梨県有林からの
木材が使用されています。

山梨県